

2017年3月期 決算説明会

2017年5月23日

岩谷産業株式会社

将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。
当然のことながら、予想と違う結果と成ることがあることを十分にご認識の上ご活用ください。

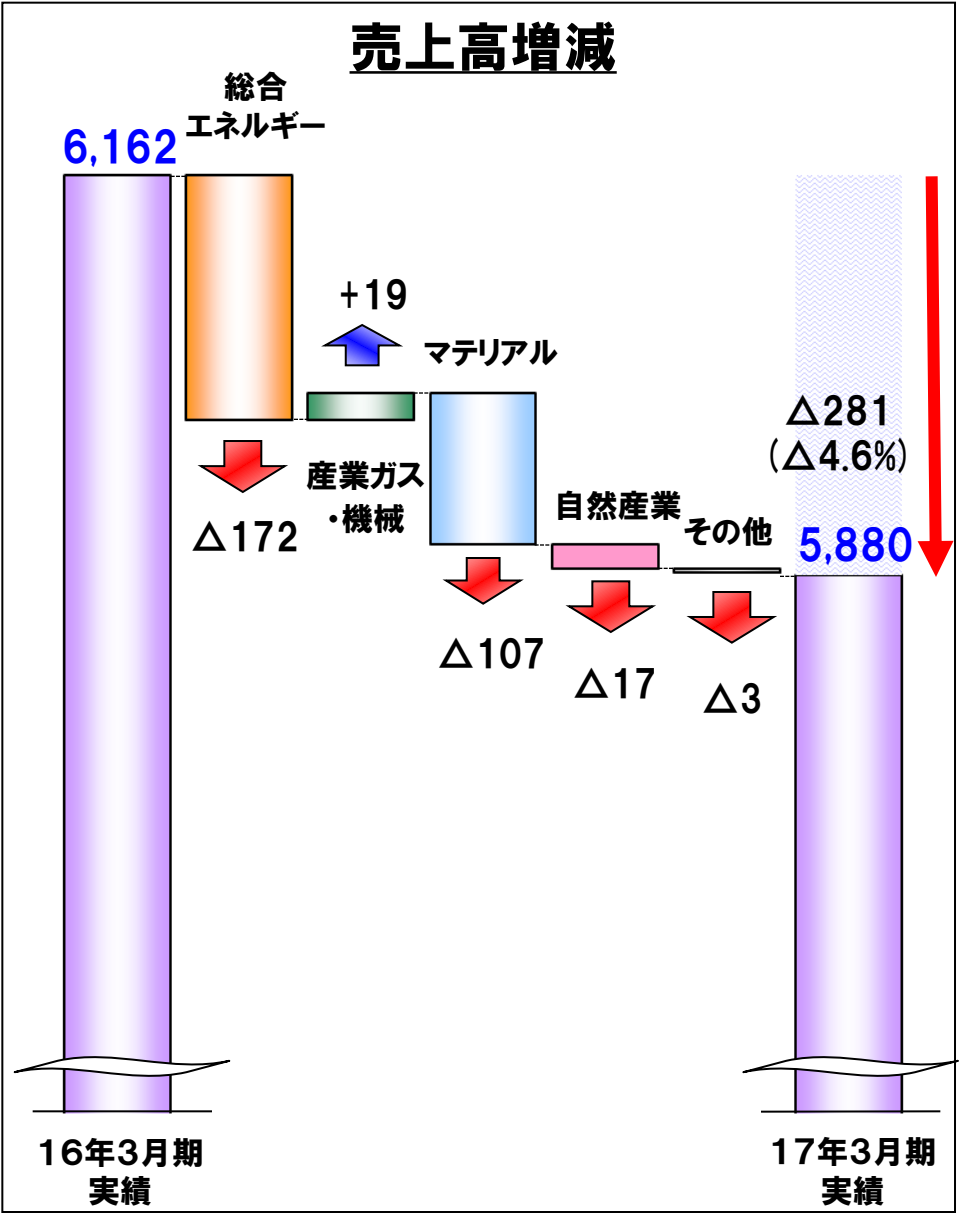
- **2017年3月期 決算概況**
- **2018年3月期 通期業績予想**
- **都市ガス小売自由化、
水素エネルギー社会に向けた取り組み**

2017年3月期 決算概況

通期(2016年4月～2017年3月)の業績

(単位:億円)

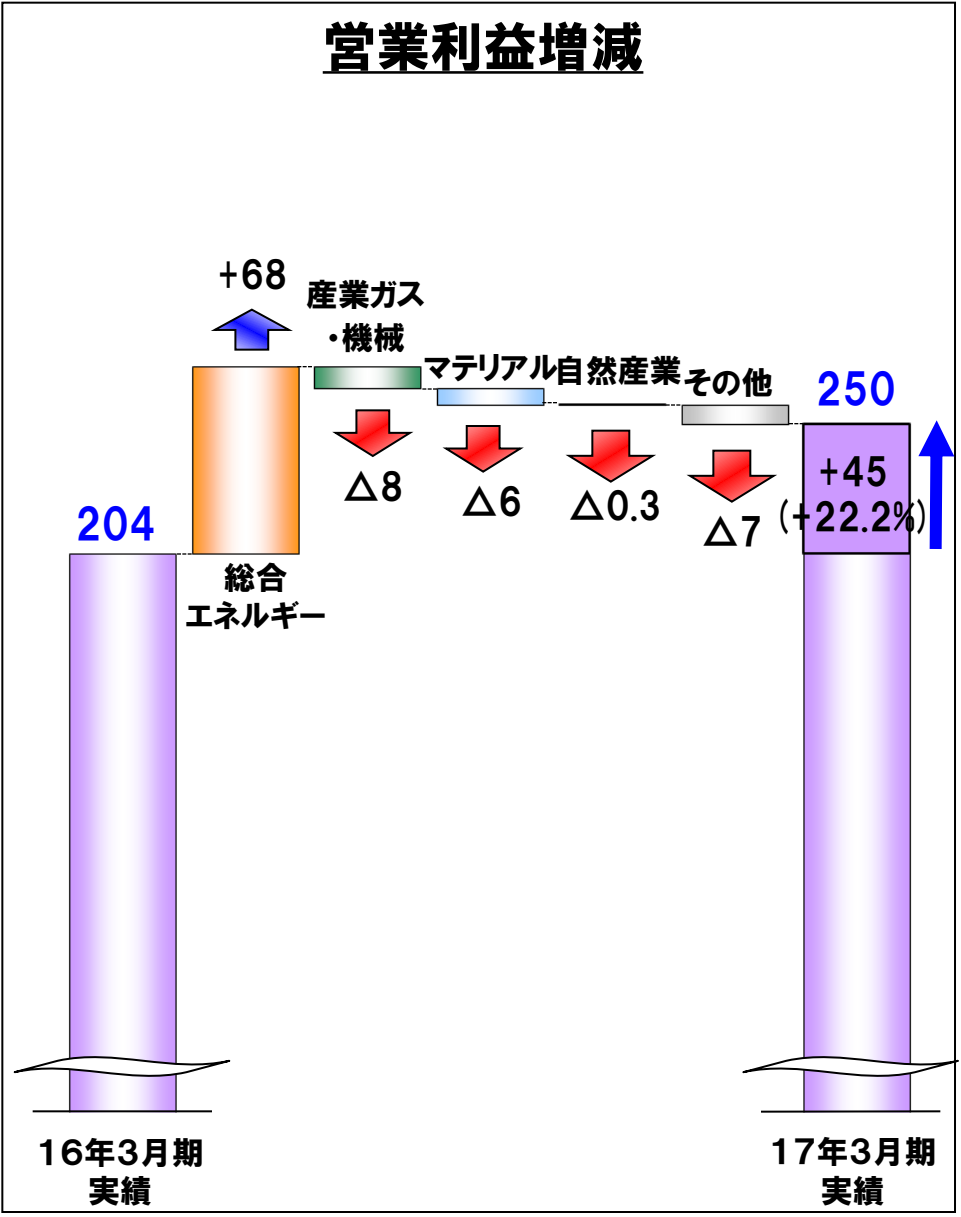
	2017年 3月期 実績	2016年 3月期 実績	前年比 (増減額)	2017年 3月期 期初予想
売上高	5,880	6,162	△281	6,000
売上総利益	1,615	1,540	+75	-
営業利益	250	204	+45	210
経常利益	268	215	+52	220
親会社株主に 帰属する 当期純利益	165	123	+41	130



通期(2016年4月～2017年3月)の業績

(単位:億円)

	2017年 3月期 実績	2016年 3月期 実績	前年比 (増減額)	2017年 3月期 期初予想
売上高	5,880	6,162	△281	6,000
売上総利益	1,615	1,540	+75	-
営業利益	250	204	+45	210
経常利益	268	215	+52	220
親会社株主に 帰属する 当期純利益	165	123	+41	130



前提

①卸売価格はC P 連動

卸売価格 ∝
$$\frac{\text{当月CP} + \text{前月CP}}{2}$$

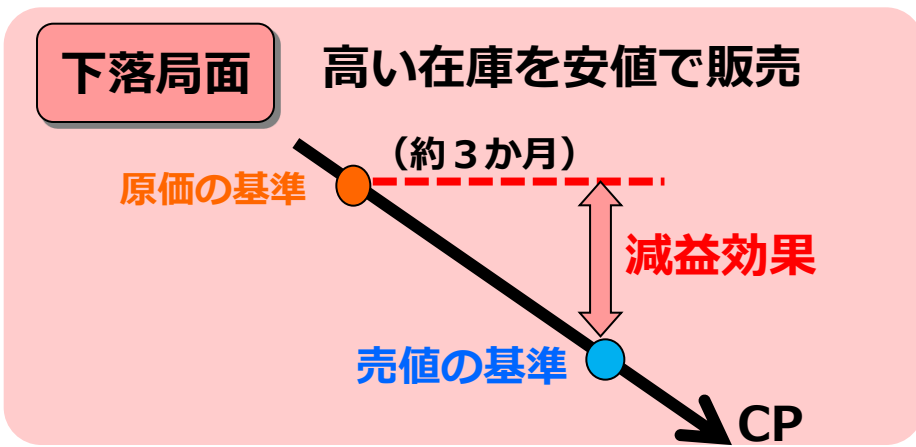
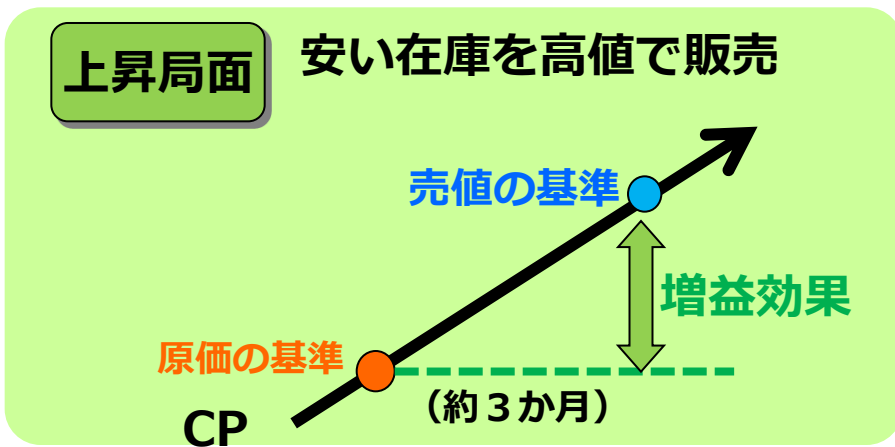
②輸入～販売の期間は約 3 ヶ月



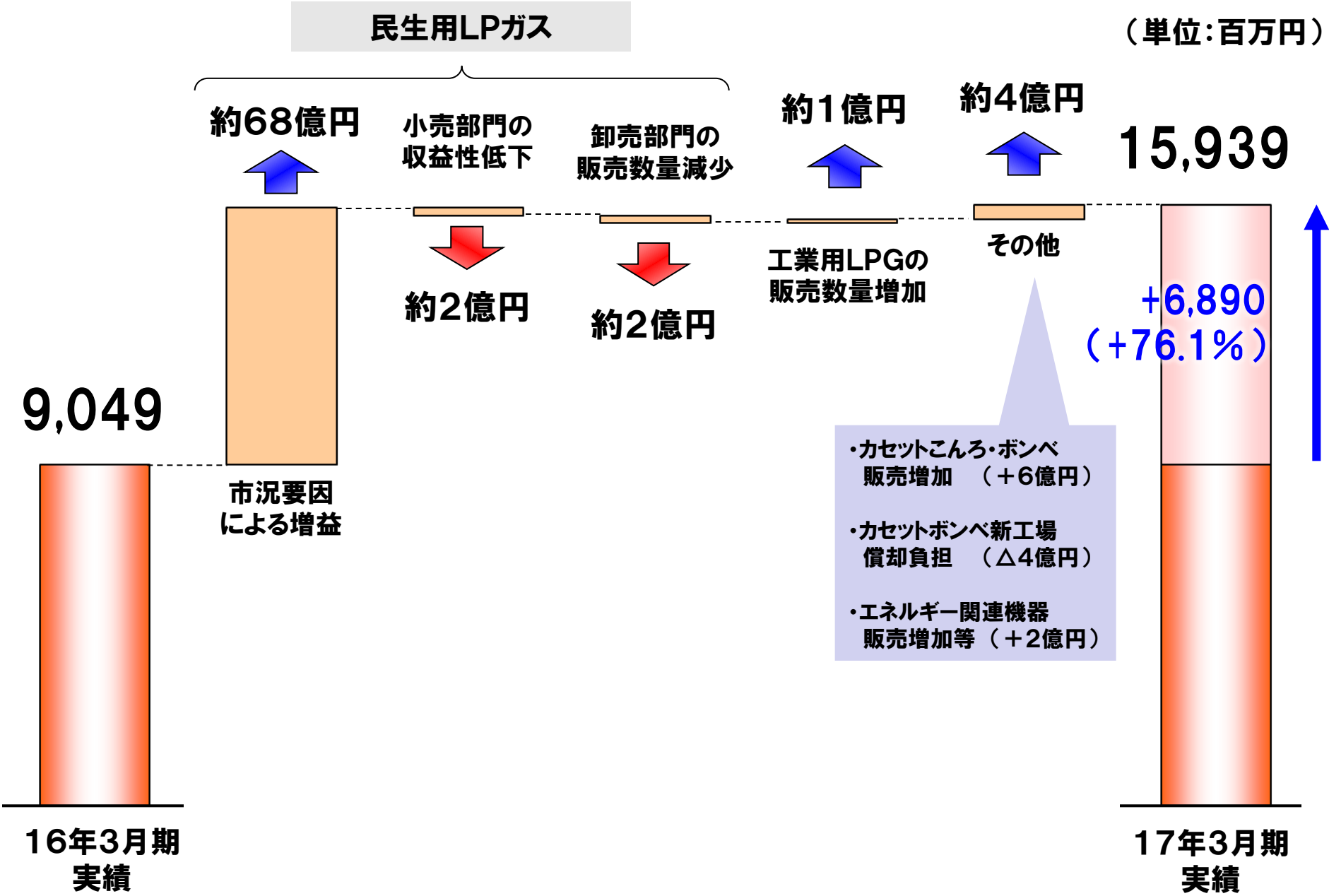
CPが変動

短期的に業績に影響が生じる (期ズレの発生)

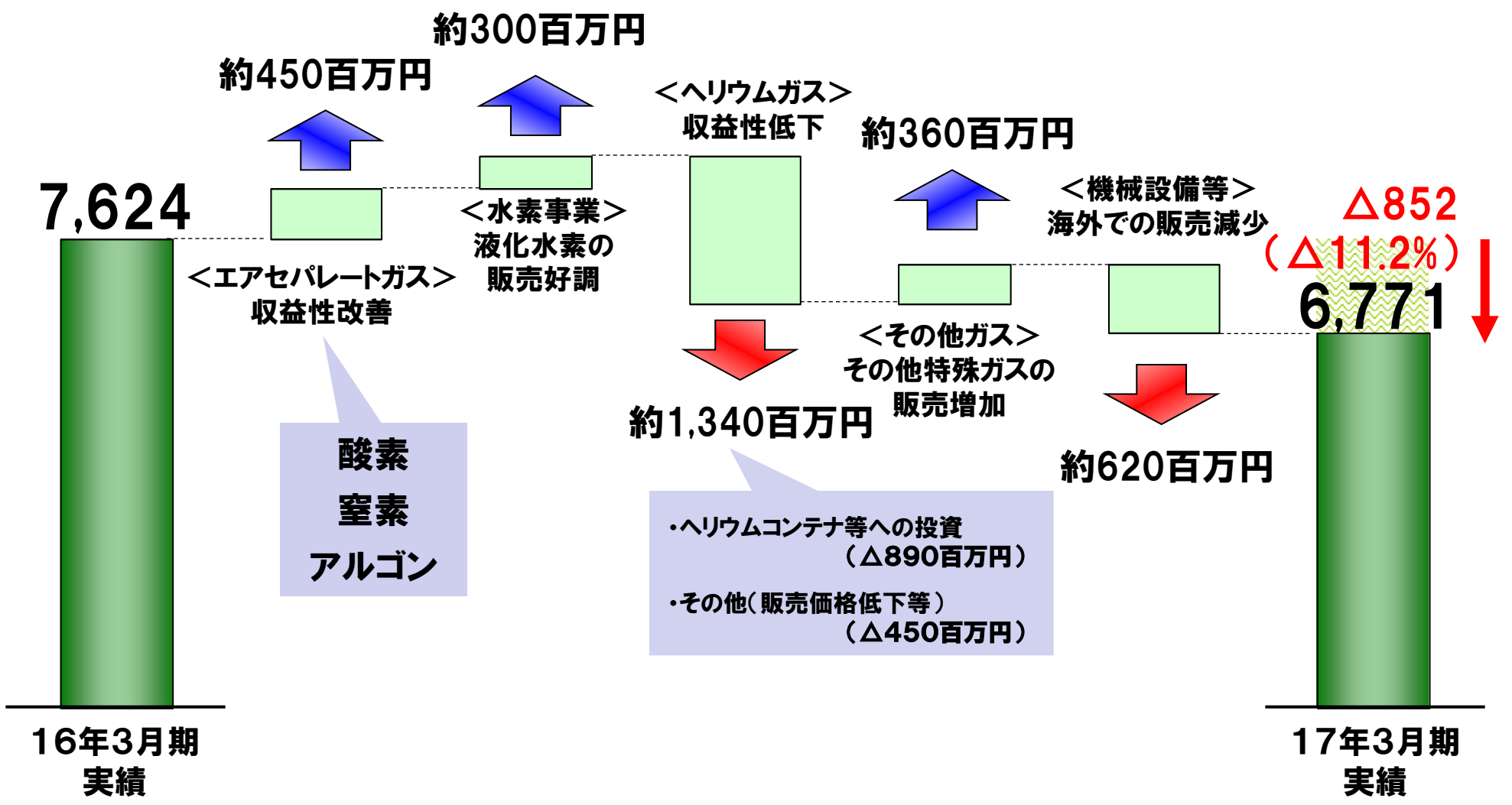
(CPが元の水準に戻れば影響はゼロ) ※



※在庫量・販売時期・販売数量等によって実際の業績への影響は変動します



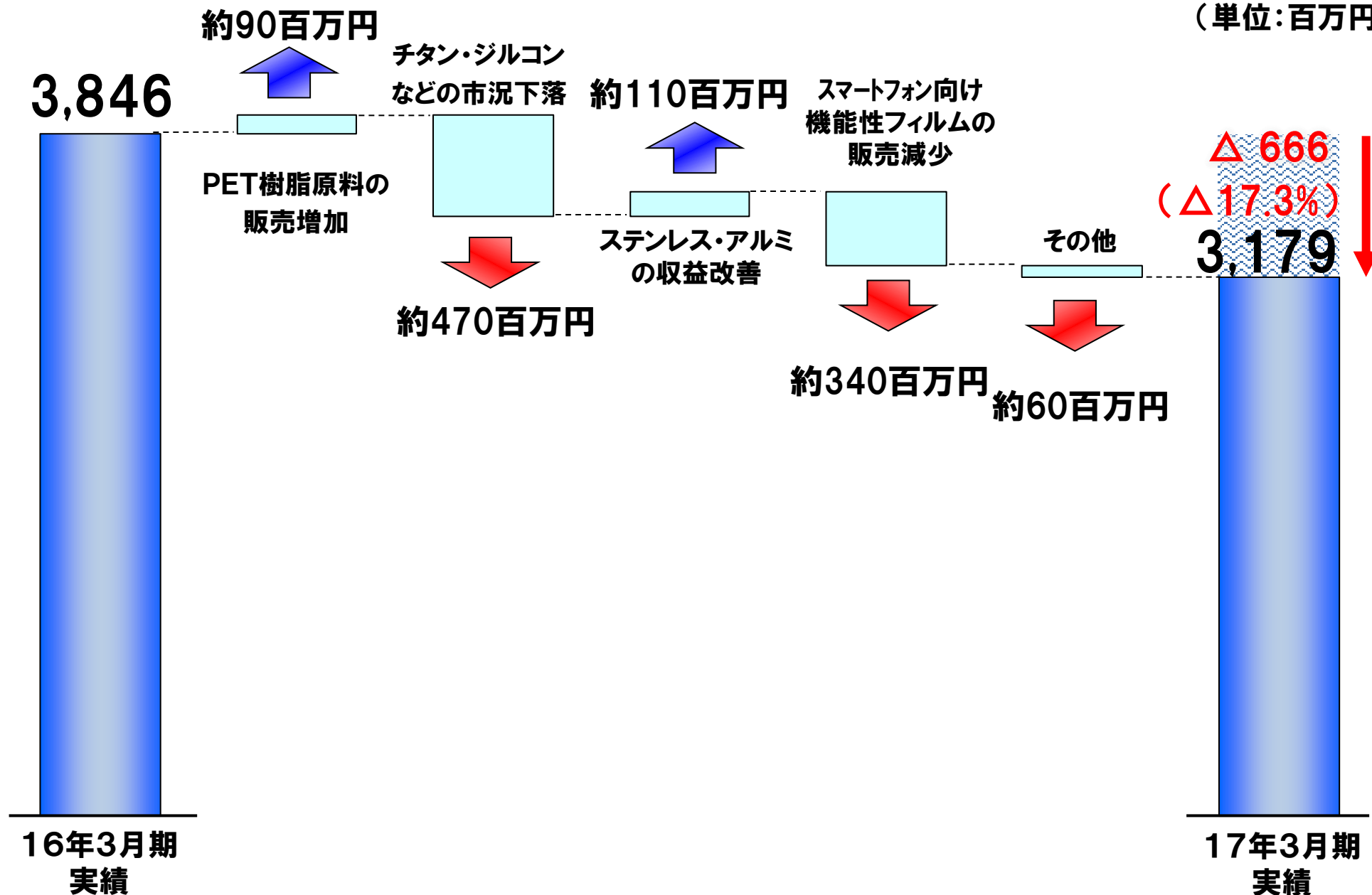
(単位:百万円)



マテリアル事業 営業利益増減分析

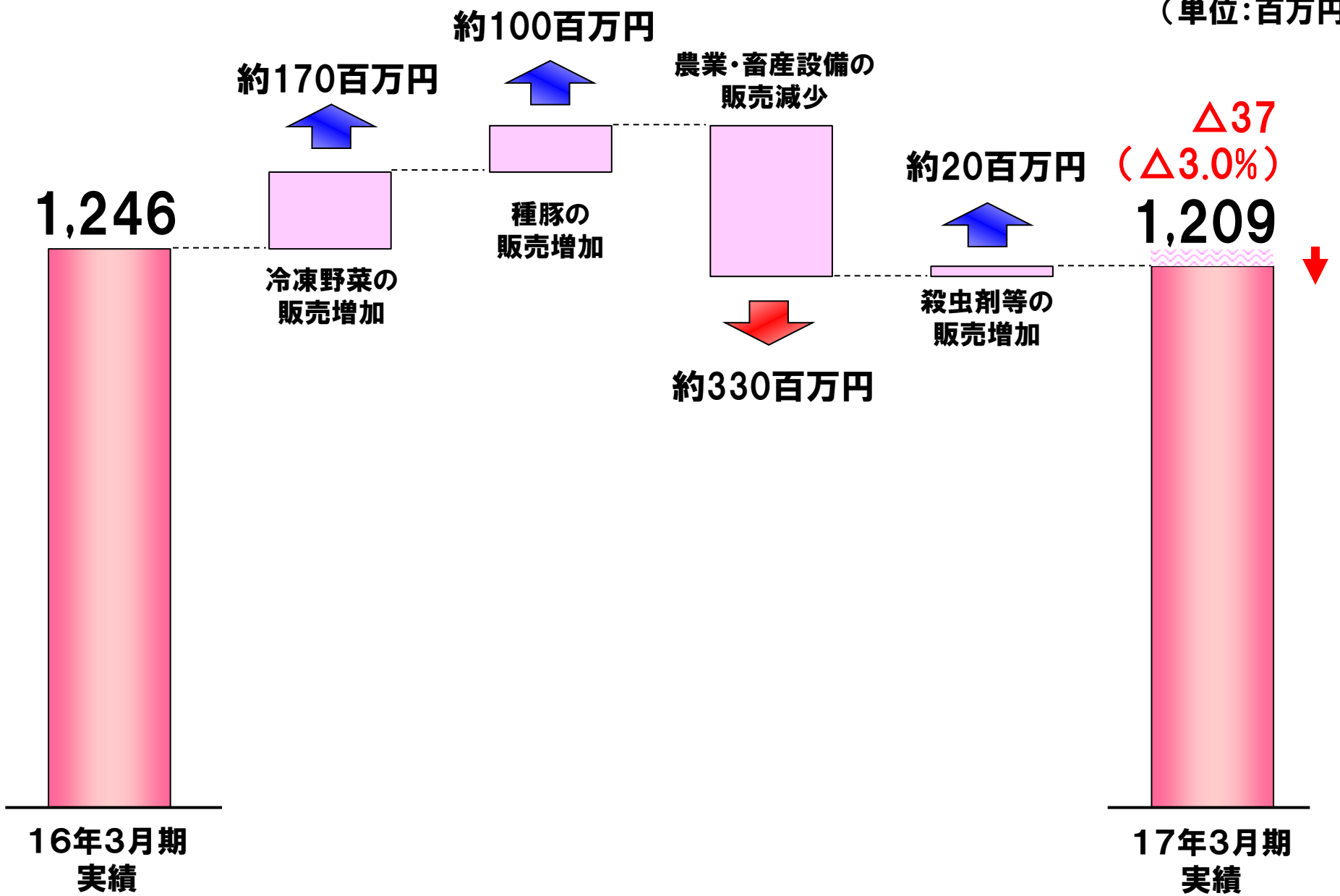
Iwatani

(単位:百万円)



自然産業事業 営業利益増減分析

(単位:百万円)



貸借対照表(連結)

	2017年 3月末	2016年 3月末	前期末比 増減額	主な増減理由
流動資産	1,844	1,758	+85	冬場のCPが前期と比べ高かったこと による売上債権、棚卸資産の増加
有形固定資産	1,566	1,450	+116	カセットボンベ工場、 水素ステーション等への投資
無形固定資産	156	168	△11	
投資その他の資産	779	667	+111	株式市場の上昇に伴う 投資有価証券の増加
固定資産	2,502	2,286	+216	
総資産	4,346	4,044	+302	
流動負債	1,822	1,724	+97	冬場のCPが前期と比べ高かったこと による仕入債務の増加
固定負債	1,075	1,074	+1	
負債	2,898	2,798	+99	
自己資本	1,344	1,147	+196	(自己資本比率 30.9%)
非支配株主持分	104	98	+6	
純資産	1,448	1,245	+202	
負債・純資産	4,346	4,044	+302	

キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

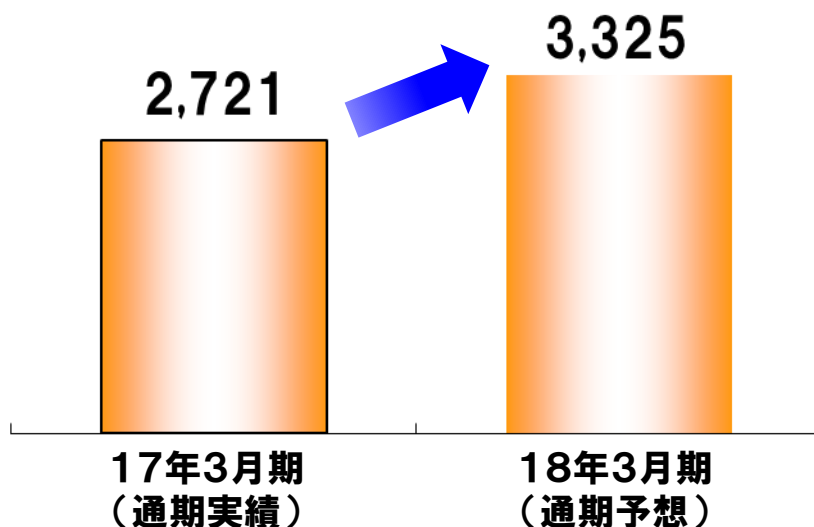
	2017年3月期 実績	2016年3月期 実績	前年比 (増減額)
営業キャッシュ・フロー	372	361	+11
投資キャッシュ・フロー	△303	△250	△53
フリー・キャッシュ・フロー	68	110	△41
財務キャッシュ・フロー	△81	△99	+18
換算差額等※	△3	0	△3
現預金等の増減額	△ 16	10	△26
現預金等の期首残高	228	218	+10
現預金等の期末残高	212	228	△16

※「換算差額」「連結の範囲の変更に伴う増減額」「非連子会社との合併に伴う増加額」の合計を表示しております。

2018年3月期 通期業績予想

売上高

(億円)

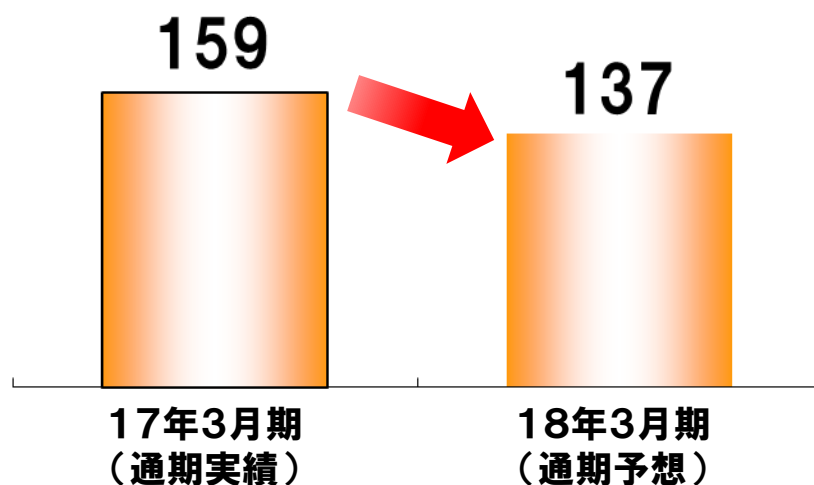


通期業績予想の達成に向けて

- ・前年度発生した市況要因の解消 【－】
- ・LPガスの拡販 【＋】
- ・カートリッジガス商品の拡販 【＋】
- ・エネルギー関連機器の販売増加 【＋】

営業利益

(億円)



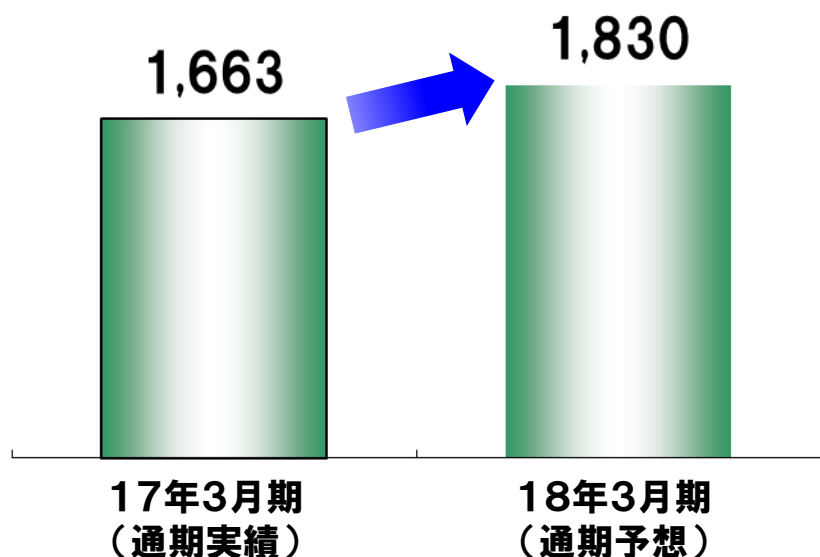
業績が変動するリスク要因

- ◇LPガス輸入価格、為替の動向
- ◇暖冬による販売数量の減少

産業ガス・機械事業の見通し

売上高

(億円)

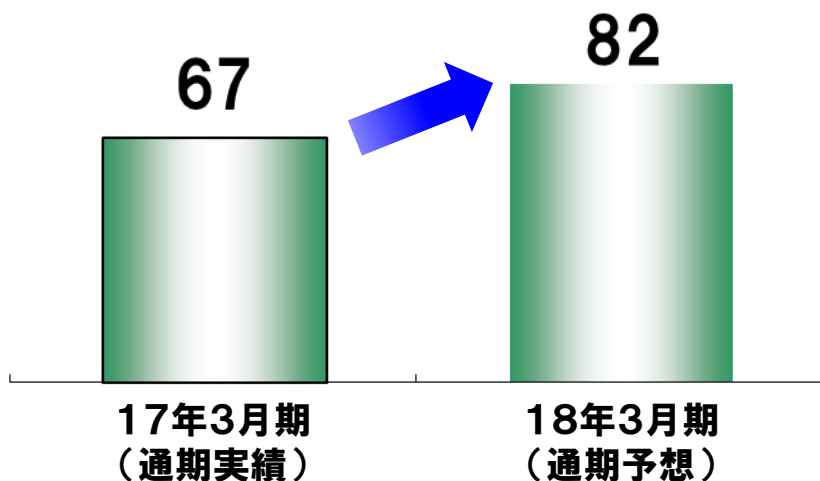


通期業績予想の達成に向けて

- ・ヘリウムの拡販及び収益改善 【+】
- ・各種産業ガス、機械設備等の拡販 【+】
- ・水素ステーション整備に伴うコスト増加 【-】

営業利益

(億円)



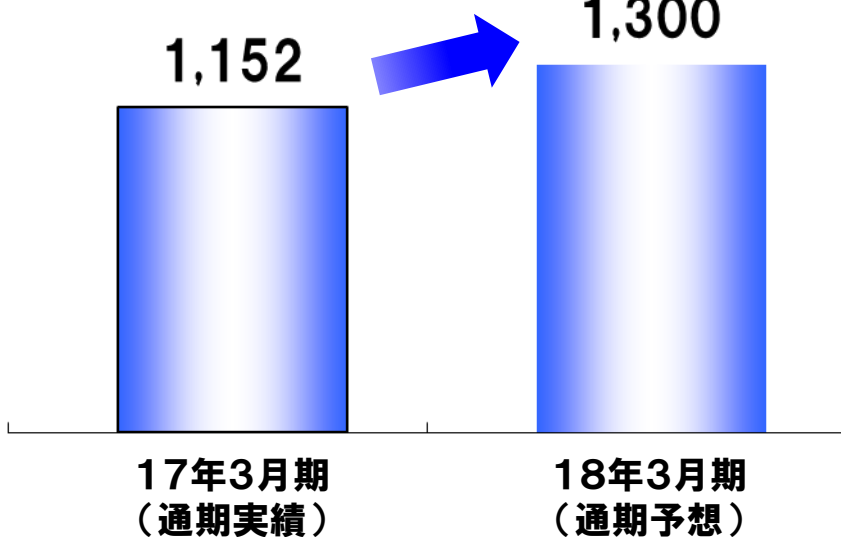
業績が変動するリスク要因

- ◇電力料金上昇による製造コストへの影響
- ◇国内外の景気低迷
- ◇為替変動

マテリアル事業の見通し

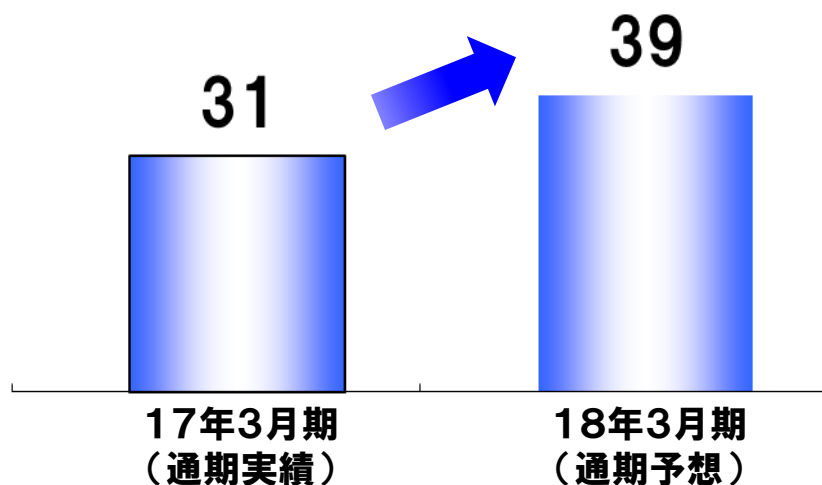
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



通期業績予想の達成に向けて

- ・PET樹脂原料の販売増加 【+】
- ・西豪州の鉱物原料事業の採掘開始、資源価格の回復 【+】
- ・ステンレス、アルミ等の拡販 【+】
- ・スマートフォン向け機能性フィルムの拡販 【+】

業績が変動するリスク要因

- ◇顧客企業の工場稼働率の低下
- ◇資源市況の変動
- ◇為替変動

自然産業事業の見通し

売上高

(億円)

268

320

17年3月期
(通期実績)18年3月期
(通期予想)

営業利益

(億円)

12

13

17年3月期
(通期実績)18年3月期
(通期予想)

通期業績予想の達成に向けて

- ・冷凍食品の拡販 【+】
- ・種豚の拡販 【+】
- ・農業・畜産設備の拡販 【+】

業績が変動するリスク要因

- ◇為替変動
- ◇原材料価格変動
- ◇天候不順

(単位:億円)

2018年3月期 通期業績予想

	2018年3月期 業績予想	2017年3月期 実績	前年比 (増減額)	前年比 (%)
売上高	6,850	5,880	+969	+16.5%
総合エネルギー事業	3,325	2,721	+603	+22.2%
産業ガス・機械事業	1,830	1,663	+166	+10.0%
マテリアル事業	1,300	1,152	+147	+12.8%
自然産業事業	320	268	+51	+19.1%
その他	75	74	+0	+0.8%
営業利益	251	250	+0	+0.2%
総合エネルギー事業	137	159	△22	△14.0%
産業ガス・機械事業	82	67	+14	+21.1%
マテリアル事業	39	31	+7	+22.6%
自然産業事業	13	12	+0	+7.5%
その他・調整額	△ 20	△ 20	+0	—
経常利益	261	268	△7	△2.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	159	165	△6	△3.9%

想定レート

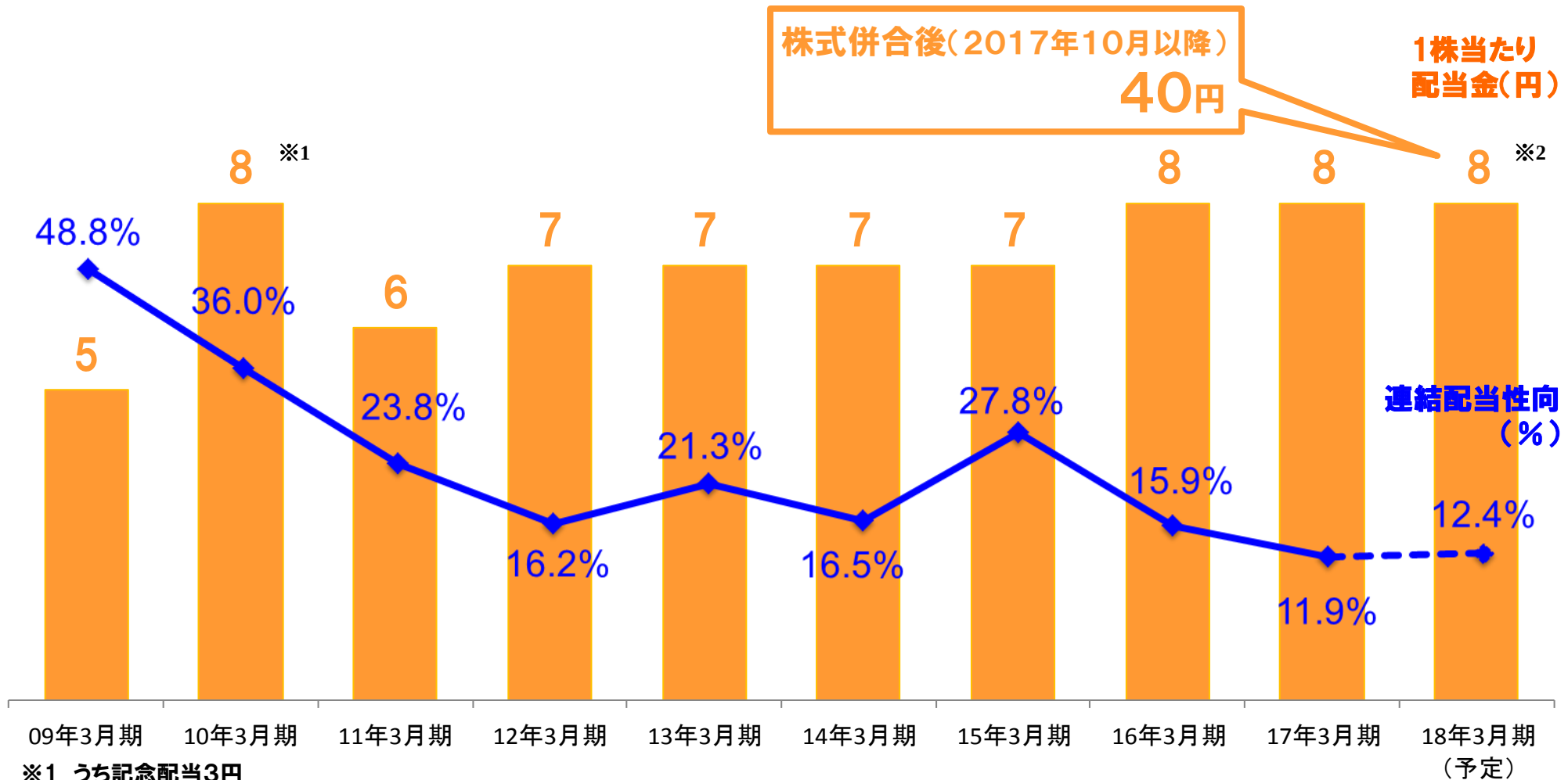
為替 110円/\$

LPガス輸入価格 450\$/トン

株主還元について(連結)

配当方針

- ・ 継続的かつ安定的な配当の実施が基本方針
- ・ 業績や経営環境を勘案しつつ適正な利益還元を実施



都市ガス小売自由化

水素エネルギー社会に向けた取り組み

都市ガス小売自由化における取り組み

電力会社と提携し、新市場へ参入



・**関西電力**と提携

・エリア内の顧客：**730万**世帯

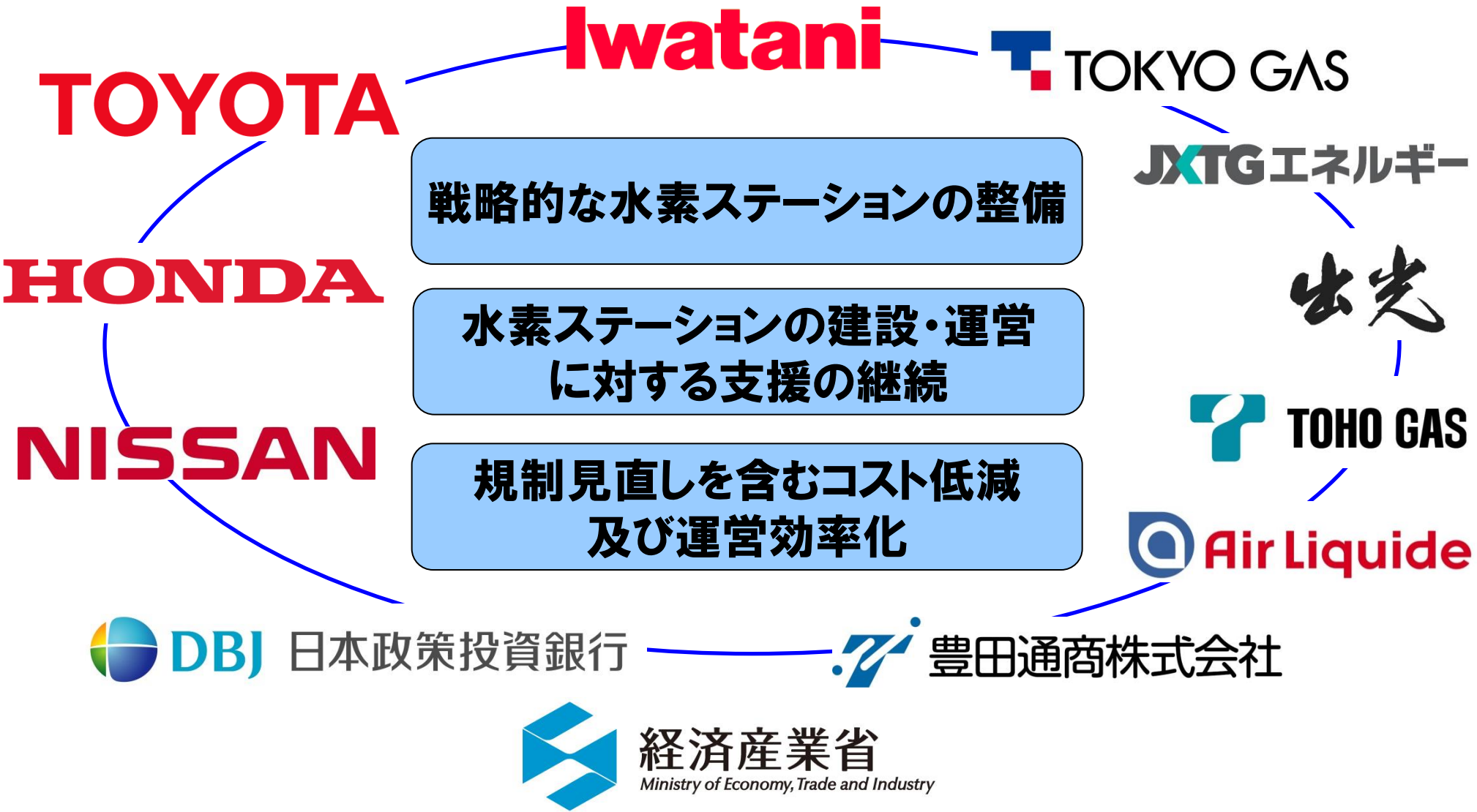
・体制 (拠点) **80**力所超
 (保安員) **300**名

・**中部電力**と提携

・エリア内の顧客：**240万**世帯

・体制 (拠点) **15**力所
 (保安員) **80**名

オールジャパンで水素社会の実現へ



水素エネルギー社会に向けた取り組み

供給能力の増強

山口リキッドハイドロジェン(山口県周南市)



2017年11月
1系統増設予定

ハイドロエッジ(大阪府堺市)



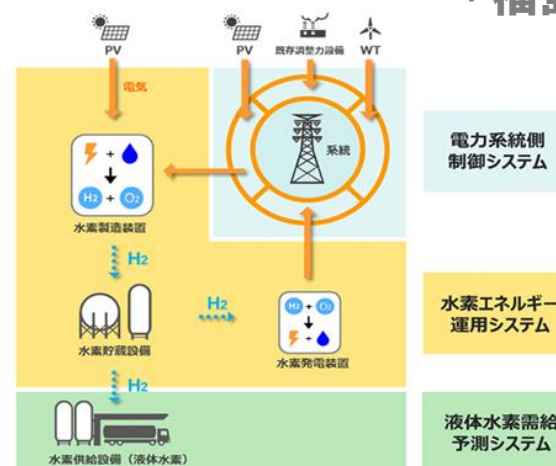
2019年7月
1系統増設予定

CO2フリー水素への取り組み

オーストラリア ビクトリア州の褐炭採掘現場



「福島新エネ社会構想」



より、そう、ちから。
東北電力

TOSHIBA

Iwatani

Iwatani